

# Trio CELESTE

## meets Hikaru Iwakawa

### @雑司ヶ谷 El Choclo

2013年1月27日(日)

開場 17:00 開演 18:00

M.チャージ ¥3,500 (ドリンク代別)

## Trio CELESTE

トリオ・セステは、各メンバーがアルゼンチンでの修行経験を持ち、今の日本のタンゴ界を牽引する3人のスペシャリストにより、2009年頃より活動を開始した。タンゴ・ピアノの奏法に精通し、小さな体に似合わぬダイナミックかつリリカルなピアノで定評のある青木。古典からモダン、現代フォルクローレにまで精通し、正確かつ華麗なテクニックで他の追随を許さぬ北村。圧倒的なグルーブと豊富な経験で音楽を統括する田中。そのレパートリーはタンゴはもちろん、いま話題沸騰中のカルロス・アギーレやリリアン・サバ等アルゼンチンの現代フォルクローレにも及び、更にオリジナル楽曲も交え演奏している。ユニット名“CELESTE”はアルゼンチン・カラーの水色！今回は世界市民的にボーダレスな活躍を続けるケーナ奏者：岩川 光さんをゲストにお迎えする。

写真提供：アグネス・ホテル東京

青木菜穂子 Pf.

<http://celeste.phono.co.jp/>

北村聡 Bn.

twitter

田中伸司 Cb.

facebook twitter

ゲスト：岩川 光 Quena

<http://music.geocities.jp/hikalucas/> facebook twitter

青森県弘前市出身。8歳の頃にケーナの音と出逢い、9歳で吹き始める。その後、サンボニーヤ、オカリナをはじめ様々な楽器を独習。平行してパロック・リコーダーを学び、これをきっかけに西洋音楽理論一般も習得。リコーダーを北村正彦氏に師事。12歳で演奏活動を始めるも、既存のケーナ奏法や一般的なケーナ演奏に対するイメージに違和感を抱き、現代的なリコーダー奏法およびパロックのフルート奏法をケーナに応用した独自の奏法の開拓・研究を始める。20歳でラ・パス(ボリビア)に単身渡航し、Rolando Encinas、Oscar Cordoba両氏に師事。翌年にはブエノス・アイレスにも滞在し、現地の最新の音楽調査をする。2010年、ファースト・アルバム「Dialogos sin Palabras」を制作。2011年10月、エクアドル・スクレ国立劇場財団から招聘を受け「Musicas del Mundo 2011」にソリストとして出演。キト・アンデス・オーケストラとケーナ協奏曲「Amanecer en Otavalo」(Enrique Sanchez作曲)等を共演、好評を博す。同年12月まで、キト、アンバト(エクアドル)、ラ・パス(ボリビア)、ブエノス・アイレスを廻る演奏旅行を行い、アルゼンチンのキケ・シネシら現地の優れた音楽家と共演。

現在は日本に拠点を置き、優れた日本人音楽家と複数のプロジェクト/ユニットを展開しているほか、来日アーティストとの共演、表現技法を越えたアーティストとのコラボレーションなども活発に行い、多彩かつクリエイティブな活動を続けている。

El Choclo <http://el-choclo.com/>

豊島区南池袋3-2-8 Tel.03-6912-5539

東京メトロ・副都心線 雑司が谷駅

都電荒川線・鬼子母神前駅 どちらも徒歩3分

